

平成 27年度 学校経営の最重点

杵築市立 北杵築小学校

学校の教育目標	ふるさとの学びを基盤とした あかるく かしく たくましい 子どもの育成
---------	-------------------------------------

重点目標	担当	達成指標	分担	重点的取組	取組指標
基礎・基本の定着	教務主任 (三谷)	<p>○国語・算数において単元ごとに行なう評価で、目標値を80%の児童が達成する。</p> <p>○市、県、全国の学力テストで、基礎内容の全項目が偏差値50を達成する。</p>	学校	<p>○各学年の児童の実態にあった課題の設定とまとめを構造化した授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての児童が引き受けやすいめあてと課題の設定</li> </ul> <p>○キーワード(学習したこと)を使ったまとめ</p> <p>○基礎・基本の定着のための時間の確保を図る。</p> <p>○調べる力や読む力をつけるために図書館の活用を図る。</p>	<p>○学期に1回互見授業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長は1日1回は授業参観して評価する。</li> <li>・授業評価表を記入して授業改善の指針にする。</li> </ul> <p>○低学年、高学年で年間1回以上研究授業を行う。</p> <p>○キーワード(学習のまとめ)の掲示を授業で行い学習の振り返りを行うことで定着を図る。</p> <p>○ぐんぐんタイムを授業時間のまとめに15分設定して定着を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の読解力の向上</li> <li>・算数の個に応じたプリント学習</li> </ul> <p>○各学年に応じた家庭学習時間を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年×10分+10分を基本とする。</li> <li>・学年に適した量と内容(教科等)を設定する。</li> </ul> <p>○低学年(1年生から3年生)は20冊、高学年(4年生から6年生)は10冊以上借りる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年で「お勧めの本」を推薦して選定する。</li> </ul> <p>○図書館を利用した授業を全職員が、月1回以上行う。</p>
			家庭	<p>○基礎・基本の定着のため、家庭学習時間の確保を図る。</p> <p>○読む力をつけるため、読書の習慣化を図る。</p>	<p>○学年×10分+10分以上の学習時間を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に1回、「生活ふり返りカード」(1週間)をつけ学習時間の確保、定着を図る。</li> <li>・月2回の放課後補充学習に○つけボランティアとして参加する。</li> </ul> <p>○平日10分以上、土日 20分以上の読書時間を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第1、3の週末は「親子読書」に取り組み、親子で同じ本を読み、感想等を読書カードに記入する。</li> <li>・長期休業中には、「○○親子おすすめの本」カードを作成し、互いにおすすめの本を紹介し合う。</li> <li>・学期に1回、「生活ふり返りカード」(1週間)をつけ、平日10分以上、土日20分以上の読書の習慣化を図る。</li> <li>・毎週金曜日の朝、各教室で読み聞かせを行う。</li> </ul>
			地域	<p>○基礎・基本の定着のため、放課後補充学習の支援をする。</p> <p>○本に親しむ習慣をつける。</p>	<p>○月2回、学習サポーターが放課後補充学習を支援する。</p> <p>○月1回金曜日の朝、各教室で読み聞かせを行う。</p>
			学校	<p>○地域人材・地域教材を活用して、ふるさと北杵築についての学習を深める。</p> <p>○地域の人とのつながりを深める。</p>	<p>○学年に応じた地域人材との交流、地域教材の活用を、学期1回以上実施する。</p> <p>○学期に1回以上、地域の方への手紙を書く機会を設定する。</p> <p>○登下校時に交通指導員の方や地域の方に元氣な挨拶をする。</p>
			地域	<p>○生活科・総合的な学習の時間の活動を支援する。</p>	<p>○各学年に対して学期に1回以上、学年に応じた内容で、地域人材や地域施設が学習に協力する。</p>
			ふるさと学習の推進	地域教育担当 (田邊)	<p>○学校評価アンケートの結果で「地域と連携した活動ができています」という保護者の割合を80%以上にする。</p>